

epoch

エポック No101

～千代田区生涯学習推進委員会議だより～

平成29(2017)年8月 発行

第11期第6回 概要報告

平成29年5月19日、第6回生涯学習推進委員会議が開催されました。

今年度から新たに生涯学習推進委員となった、ちよだボランティアセンター長の清水昌代委員を加えて、第11期後半の検討に臨みます。今回は新年度初回の会議ということで、昨年度から継続議論している「ちよだ生涯学習カレッジ」について現状報告を行い、全員で共通認識を持ちました。

その後、今期後半に議論していくテーマについて検討を行いました。卒業後の活動についてイメージも膨らませながら、テーマについてのキーワードを出し合い、決定しました。

以下、概要をお送りいたします。

「ちよだ生涯学習カレッジ」2コース目について

コース名「千代田まちマイスターコース」に決定

5回会議で話し合った「ちよだ生涯学習カレッジ」2コース目について確認しました。

○漢字で「千代田」、ひらがなで「まち」、そしてマイスターとする。

○2016年10月に「ちよだ生涯学習カレッジ」が開校し、現在は「学びと地域のコーディネーター養成コース」で学んでいる。将来的には複数のコースを開設する予定で、開校2年後である2018年に2コース目ができるように検討しているところである。

○名称には「観光」というキーワードが入っていないが、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることも見据えて「おもてなし」についても学び、将来的には観光の分野でも活躍できる人材を養成するようなコースを想定する。

○観光分野においては語学が必要にはなるが、個々の素養にもかなり寄るところなので、カリキュラムには入れないこととする。



「ちよだ生涯学習カレッジ」第1期生の現状報告

○直近の5月10日までの計13回の授業における出欠状況を提示した。総数35名で在籍数に変わりはない。

○欠席の中に、長期欠席者が含まれている。休学制度を設けていないため、すべて欠席者としてカウントしている。

○3月4月は年度の変わり目であったため、仕事や体調不良で欠席の連絡が多かった。欠席者からは毎回事務局に欠席連絡が入っており、無断欠席者はいない。

○遅刻・早退30分以上が2回で1回の欠席としてカウントしている。



回	1回	2回	3回	4回	5回	6回	7回	8回	9回	10回	11回	12回	13回
日付	10/19	11/2	11/16	12/7	1/11	1/25	2/8	2/22	3/8	3/22	4/12	4/26	5/10
出席	33	31	30	29	26	26	28	28	27	25	23	21	27
遅刻・早退	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1
忌引等	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
欠席	2	3	4	6	8	9	7	7	7	10	11	14	7
合計	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35	35

学びと地域のコーディネーター養成コース第1期生 出欠状況内訳（人数）

質疑応答・意見等

○長期欠席の理由とは

⇒仕事で異動になった等、仕事で理由の人が
多いが、体調不良の方もいる。

平成29年10月から第1期生が2年生になる。
それぞれへ今後の在学や進級の意向を
確認し、ご本人の意思を尊重して対応する
予定である。

○学生の積極性について

⇒事務局が当初想定していたより現役世代の
方が多く、仕事で忙しくても2時間の授業
を積極的に受けている。ときには話し合い
の時間が足りずに21時過ぎまで残ってい
ることもある。話し合いの時間を確保する
ため、第2期生からは少し時間割を変える
予定である。



○長期休暇について

第1期募集の段階ではどのような年齢層の
方々が集まるかわからなかったが、退職後
の社会参加として受講されている方や現役
世代で年度末・年度初めに忙しい方がいる
ということがわかった。今後、状況に応じ
て長期休暇の設定やその時期について考え
ていく必要があると感じた。

○不合格者と長期欠席について

第1期は希望者が全員入学できているので
問題がないが、今後申し込み者が増えて選
考を行った場合、長期欠席者がいるとその
分ほかの人が入れたのでは、という意見が
出てくる可能性がある。今後考えていく必
要があると思う。

「ちよだ生涯学習カレッジ」第2期生の募集について

募集内容

- ・ 募集期間 7月5日（水）～8月17日（木）（必着）
- ・ 申し込み資格①20歳以上②区内在住・在勤・在学者
③2年間継続して学ぶことができ、学習成果を地域活動やボランティア
活動などを通じて実践する意欲のある方
- ・ 定 員 30名
- ・ 授業料 年間1万円（2年間で2万円）
- ・ 申し込み方法 入学願書に作文を添えて事務局まで提出
- ・ 選考方法及び入学者の決定 入学願書を選考し、郵送にて決定通知。
- ・ 従業回数 全36回



第1期生との変更点

- ・ 授業日を第1・第3(及び第5)火曜日とする
- ・ 一部カリキュラムと講師の変更
専門Ⅰで「大人の学びあい」や「話し合い」を体験的に学ぶため、グループワークを増やす
- ・ あらかじめ自主活動日を設定する



質疑応答・意見等

○授業は入れ子式で展開されている。学生がスケジュールを把握しやすいように、授業カリキュラムに曜日を入れるとよい。

○授業カリキュラムは、入学直後に受け取る資料。「基礎・専門の枠ごとに記載している。日付順に並んでいないので注意」などの一文があったほうがわかりやすい。

○昨年の広報千代田8月5日号の一面に掲載されたとき、同じ面におおきく「かがやき大学」が紹介されていた。同じ大学という分類で同じ面に掲載されたのかもしれないが、区別がつきにくくわかりにくかった。



生涯学習推進委員会議の今期後半のテーマについて

『「ちよだ生涯学習カレッジ」卒業生が地域で学習成果を生かしていくための仕組みづくり』を表すテーマについて話し合いました。

自由意見

○「紡ぐ」

対象者と直接向き合うことも大切なことであるが、自分より詳しい人を紹介できるような「自分で紡げる」人というのが、卒業生にやっていただきたいことである。

○「結ぶ」

人と人、人と地域というようにいろいろなものを含めて結ぶ。ネットワークや広がりをつくるようなイメージ。



学生の様子から（事務局）

○ボランティアセンターの見学から

自分たちもボランティア団体を立ち上げて活動してみたい、助成金をうまく活用してみたい、という意見があった。

○助成を受けて活動することについて

公的機関から助成を受けると、書類をそろえるのも経理も大変になるかもしれない。それでも、千代田の関係機関と連携して何かやりたい、助成金が受けられる程度に地域から認知されるような活動をしたい、という意欲を感じる。

次回から内容を検討していきます

第11期のテーマ：

「学びを紡ぎ地域を結ぶネットワークづくり」に決定

「生涯学習推進委員会」って

木村 由香

昨年より千代田区青少年委員に推薦していただき、その御縁もあり第11期の生涯学習推進委員として会議に出席させていただくことになりました。ですが、「生涯学習推進委員？会議？」ってどの様な意見を言って、どの様な意見を求められるのか？そんな事を思いながら第1回の会議を向かえました。

第1回会議内容は「ちよだ生涯学習カレッジ」の開校に向けての課題等でした。

「ちよだ生涯学習カレッジ」（学びと地域をつなぎ、学びを地域に還元する）はもう4年前より開校へ向け、名称・コース内容（モニターコースも終了）を委員会会議で議論されたとのことをお話を伺いました。第2回会議では「ちよだ生涯学習カレッジ」2コース目の学科についての話し合いが始まり自分自身が学ぶ側にたち、どのような名称？・コース？がよいのかと委員の皆様と議論していく中で私自身『学ぶ』ことがとても多いと感じました。

カレッジを受講している皆様も楽しく学び、学んだ知識を地域に還元していったほしいと思います。カレッジを卒業された方々の活躍の場も関連機関と連携し生涯学習推進委員として会議で議論しサポートしていければと思っております。

私にとって「生涯学習推進委員会」は自分も『学ぶ』楽しさを見つけれられた会議でした。これからも、生涯学習推進委員として委員の皆様とカレッジを受講している方々が楽しく学べるよう、議論を重ねていきたいと思います。

「楽しさを写すレンズ」

吉田 和仁

先日、北の丸公園を散歩していたら、ジャイアントの野球キャップを後ろ向きにかぶり、首から掛けた一眼レフで、枝垂桜の樹を写そうとカメラを構えている女性に出くわした。

私に気づくと、挨拶してくれた。よく見ると、何年か前の卒業生、今は立派なお母さん、子どもは小学3年生。なんでも、写真がご趣味とか。あちこち草木の写真をとっていますと。私が「それだったら向こうのマンスションの横を、ずーっと入ったお宅の前のヤマブキの花が今、見事です」と教えてさしあげた。後日、お会いしたら、さっそく息子を連れて撮りに行きました、と。

私は以前、学校で写真部の顧問をしていたので、それから、時々その親子に会うと、写真談義、カメラ談義に花を咲かせることも。やがて、そのお母さんはパートの収入の一部を貯めて、望遠レンズを買い、千代田区内の草木や生き物の写真、さらには天体写真へと、被写体を広げていった。

休日には息子さんを連れて、秩父の山々や東京湾の野鳥公園に、鳥の写真や草木を撮りに行っている。子どもには自分が使わなくなったカメラを貸し与えて。「息子がカメラに夢中になっています。」と、あるとき、嬉しそうに教えてくれた。実は、お子さんには軽度の発達障害がある。しかし、それを感じさせない。生き活きとしていて、お母さんといっしょに、あちこちへ写真を撮りに行くのが本当に楽しそうだ。

親が、何かに熱中している姿を、子どもに見せることくらい最高の教育はない。

編集後記（事務局より）

第11期第6回のエポックをお送りいたしました。今期後半のテーマが決まりましたので、今後後半の検討も最盛期を迎えることとなるでしょう。

ご多忙の中、リレー随筆をお引き受けいただいた木村委員、吉田委員に、心から御礼申し上げます。次号エポックも、よろしくお願いいたします。

【編集／発行】

地域振興部 生涯学習・スポーツ課

〒102-8688 千代田区九段南1-2-1

TEL：03-5211-3632

FAX：03-3264-1466

Email：shogaigakushuu@city.chiyoda.lg.jp